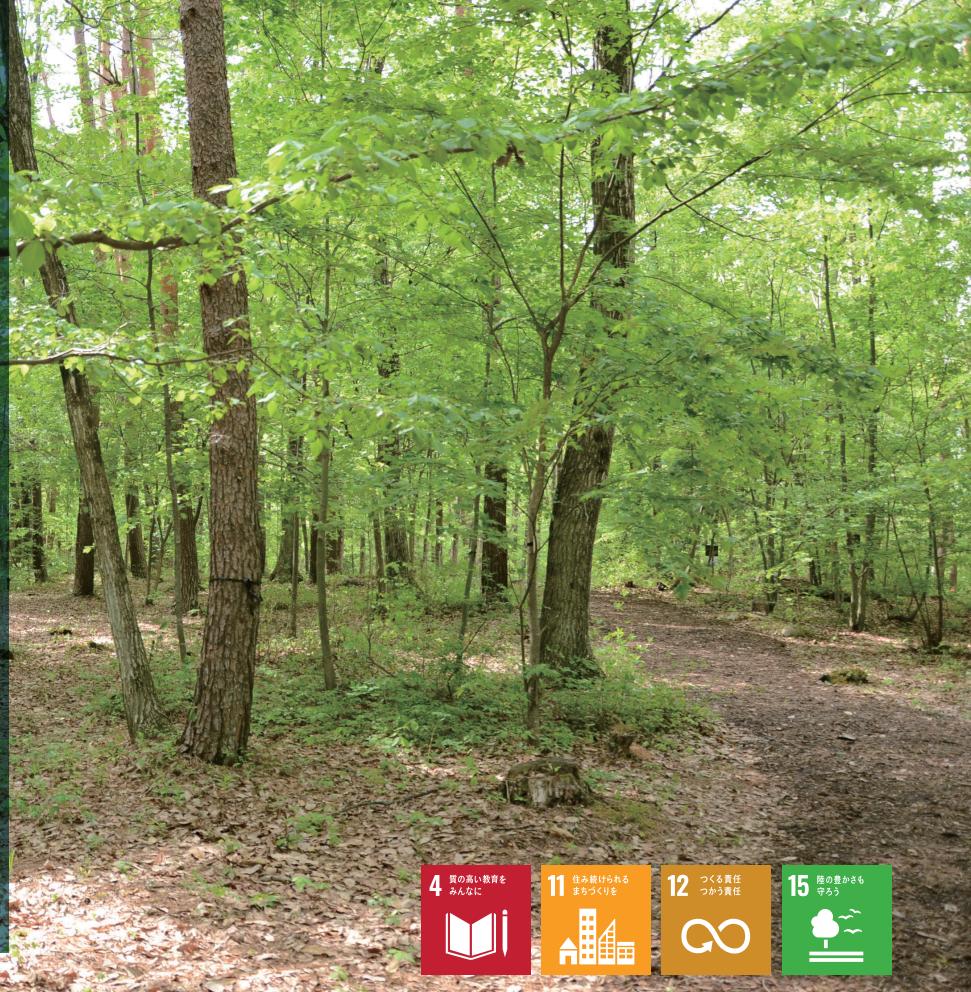


持続可能な 里山林の管理と保全

国営アルプスあづみの公園 (大町・松川地区)

里山林は、1950年代まで調理の煮炊き等の燃料として、薪や炭用の木材を提供してくれる住居に近い森林で、周辺住民により継続的に管理されてきた森林です。また、下草刈りや間伐作業をおこなうことにより「雨水を一時的に貯蔵する」「土砂崩れ・洪水を防ぐ」「野生動物(特にクマ)を民家に近づけない」等の効果もありました。しかし、1960年代以降は化石燃料の石油(化石燃料で発電する電気も含む)が一般的に燃料となり、管理されない里山林は荒廃してしまいました。

国営アルプスあづみの公園「大町・松川地区」では、「人にも環境にもやさしい公園」を目指し、昔ながらの里山林の維持、保全に力を注いでいます。



実施可能時期	右記のとおり
所要時間	2時間～2時間30分
対象	中学生・高校生・一般
対応可能人員	各20～40名

①プログラムの流れ

10～20分

公園到着 == 説明(作業内容) ==

約10分

90分

実施場所へ移動 == 《各種体験》

約10分

== 出口へ移動 == 公園出発

※安全のため、体験時間は生徒さんが集中できる時間内としました
《 体験40分 + 休憩10分 + 体験40分 》

里山林の管理と保全を「分かりやすく、安全に」体験していただきます

●各体験指導員が、参加者20名に対し1～2名程度同行いたします

●実施日の6ヶ月前までにお申ください

- 1.下草刈り(5～10月)…表土に光を入れ樹木の育成に必要な作業
- 2.下枝払い(10～3月)…樹幹に光を入れ光合成のために必要な作業
- 3.腐葉土づくり(11～12月)(3～4月)…落ち葉を集めて堆肥づくり作業
- 4.丸太切り＆薪割り(通年)…間伐材を有効に利用するために必要な作業



探究学習のポイント

事前学習

課題の明確化

中学・高校向け環境学習SDGs資料「森林について」と「各種体験の手引き」をお送りしますので、里山林の大切さについてお考えください。
必要に応じ、説明係員の派遣も可能です(有料)

現地学習

答えを導く

- ①旅行中に、道路から見える山や森を観察していただき、公園と比較してください。
- ②事前学習で学ばれた内容で、公園内で実施していることを発見してください。

事後学習

掘り下げる

現状の森林と、SDGsを考えた森林の管理・保全について話し合いをお願いします。



持続可能な里山林の管理と保全

事前学習

課題の明確化

中学・高校向け環境学習SDGs資料「森林について」と「各種体験の手引き」をお送りしますので、里山林の大切さについてお考えください。

必要に応じ、説明係員の派遣も可能です(有料)

現地学習

答えを導く

①旅行中に、道路から見える山や森を観察していただき、公園と比較してください。

②事前学習で学ばれた内容で、公園内で実施していることを発見してください。

事後学習

掘り下げる

現状の森林と、SDGsを考えた森林の管理・保全について話し合いをお願いします。